



# よこはま

2021年 9月30日

第 228 号

日本労働組合総連合会神奈川県連合会  
横 浜 地 域 連 合

連絡事務所 〒231-0031 横浜市中区万代町 2-4-7  
横浜市技能文化会館 402号  
TEL. 045-641-6262 FAX. 045-641-6252

発行責任者 高橋 卓也  
編集責任者 高橋 直樹・加賀谷 護

## 「安心・安全・安定の市政」「住みやすい横浜」をめざして 「2022年度に向けた政策・制度要求と提言」を横浜市へ提出

横浜地域連合は、9月13日(月)高橋議長をはじめ、五役9人の出席により、連合神奈川と共に「2022年度に向けた政策・制度要求と提言」を横浜市へ提出した。今回の提出は、市長選挙において横浜地域連合が推薦し、見事当選を果たした山中新市長との初めての公式な場での顔合わせとなった。

冒頭、横浜地域連合高橋議長は「日頃より横浜地域連合へのご支援、ご協力に感謝する。横浜地域連合は働くことを軸とする安心社会の実現に向けて様々な活動しているが、『政策・制度要求と提言』も重要な柱の一つとして行っており、今年度も43項目の課題について取りまとめた。現在新型コロナウイルス感染症がな



高橋議長から山中新市長へ要請書を手渡す



挨拶をする高橋議長



かなか収まらず、さらに深刻化している状況だが、このような時こそ行政としての社会的セーフティネットを強化し、横浜市民のためにがんばっていただきたい。また、今後各地区連合からそれぞれの行政区に対しても同様の要望が提出されると思うが、そちらに対しては誠意あるご対応をお願いしたい。」と挨拶した。次に山中新市長が「頂戴した政策・制度要求と提言についてはしっかりと受け止め、来年度の予算編成に臨む。現在の最優先課題は感染症対策であるが、ワクチン接種の機会を増やし加速化すると共に、接種に関するデータを早く正確に、わかりやすく公表して、市民



要請書を確認する山中新市長

の皆様の不安を解消する。また、新型コロナウイルス感染症は社会・経済活動に

も大きな影響をあたえているので、横浜市の経済回復に向けて事業の継続や再生に向けた支援に一層の力を注ぎ、事業者と働く皆様の暮らしをしっかりと支えていきたい。」と挨拶した後、要請書を手交した。引き続き行われた重点政策の説明では、秋山議長代行から安全安心な街づくりを視点に、①「保育施設入所の課題への対策」②「地球温暖化対策について」の確認をした。山中新市長から2項目について「保育所対策として保護者へのニーズ調査を経て作成された『第二期横浜市子ども子育て支援事業計画』を基に状況分析

### 「連合アクション」の取り組みとして、PRポスターを横浜市営地下鉄に掲出



PRポスター

ブルーラインの様子→



←グリーンラインの様子

これまで「連合アクション」の取り組みとして、桜木町駅頭に月1回五役と各種議員の参加によるPRチラシ入りティッシュの配布をしてきた。しかし、新型コロナウイルスの感染状況が悪化し、街頭での活動が難しい状況が続いている。また、一方でコロナ禍による解雇・雇止め相談件数も増えてきており、労働相談等を通じて働く人の暮らしを守る対応が必要不可欠となっている。そこで今回、横浜地域連合は労働相談等のPRポスターを市営地下鉄に展開することを決定し、ブルーラインには9月1日から1カ月間、グリーンラインには9月14日から1カ月間、各車両のドア横に1枚ずつ掲出し、連合神奈川での労働相談等の周知を図ることとなった。

# 立憲・国民フォーラム市会議員団への 要請行動を行う!



大山団長へ要請書を渡す高橋議長

7月29日(木)、横浜地域連合に向けた政策・制度要求と提言」の実現に向けて、高橋議長以下五役、各地区連合代表者、政策委員で立憲・国民フォーラム市会議員団への要請行動を行った。

要請行動には横浜地域連合から21人、立憲・国民フォーラム市会議員団からは大山団長をはじめ17人が出席した。進行は藤崎政調会長が行い、両代表挨拶の後、高橋議長から大山団長へ要請書が提出された。続いて加賀谷事務局長が「2022年度に向けた政策・制度要求と提言」の概要について説明し、その後意見交換が行われた。「地球温暖化を防ぐにあたって

9月1日に、かながわ県民・民主フォーラム神奈川県議会議員団へ要請行動を実施した。横浜地域連合からは高橋議長をはじめ五役の6人が参加し、かながわ県民・民主フォーラム神奈川県議会議員団からは、曾我部議員が参加した。それぞれを代表して高橋議長、曾我部議員が挨拶し、要請書を手交した。加賀谷事務



曾我部県議へ要請書を渡す高橋議長

局長による「2022年度に向けた神奈川県警に対する」

「道路交通等課題に関する改善要望の実現に向けて、県議団へ要請行動を行った。」

## 2つの県議団へも要請行動を実施!!

9月14日には、立憲民主・民権クラブ神奈川県議会議員団への要請行動を行った。横浜地域連合からは高橋議長をはじめ五役、各地区連合代表者、政策委員16人が参加した。立憲民主・民権クラブ県議団からは、作山団長をはじめ、13人の県議が参加した。高橋議長と作山団長の両代表挨拶の後、要請書を手交し、個々



作山団長へ要請書を渡す高橋議長

「要請については誠心誠意実現に向けて県警にお伝えする。また、年度内に実現できない要望であっても、継続して繰り返すことで実現されるものもある。そこを最終目標に置いて取り組んでいきたい。」旨の挨拶があった。

### コラム「るーぷ」

みなさんこんにちは。自治労横浜市従業員労働組合の寺田です。横浜市役所職員の労働組合です。先の見えないコロナ禍の中で、みなさん公私ともに大変な思いをしていることと思います。横浜市役所も同様に感染のリスクを負いながら日々の業務にあたっては職員も多くなります。また、ワクチン接種や感染拡大防止対策、感染者への対応などの業務については人手が足りないため、現在緊急対応として全市の各部署からの応援配置により対応しています。応援に行く職員も大変です。職場に残された職員は少なからず、職場に通常業務を行うため、とても忙しい思いをしています。一日も早く通常が戻ることを願っていますし、組合としても必要な申し入れや協議を行っています。さて、8月に行われた横浜市長選挙は、我々行政機関のトップを決める選挙でした。自治労横浜としては、推薦する『山中竹春』氏の当選をめざし取り組みました。そのような中で、横浜地域連合をはじめ、多くの産別・単組のみなさんご支援とご協力をいただき、圧倒的な差で当選を果たすことができました。この場をお借りしまして、心から感謝申し上げます。これからは、労組として新市長を支えていくとともに、力を合わせて職員が安心して働ける職場環境を作っていくことにより、横浜市民のみならず、組合としても必要な申し入れや協議を行っています。さて、8月に行われた横浜市長選挙は、我々行政機関のトップを決める選挙でした。自治労横浜としては、推薦する『山中竹春』氏の当選をめざし取り組みました。そのような中で、横浜地域連合をはじめ、多くの産別・単組のみなさんご支援とご協力をいただき、圧倒的な差で当選を果たすことができました。この場をお借りしまして、心から感謝申し上げます。これからは、労組として新市長を支えていくとともに、力を合わせて職員が安心して働ける職場環境を作っていくことにより、横浜市民のみならず、組合としても必要な申し入れや協議を行っています。さて、8月に行われた横浜市長選挙は、我々行政機関のトップを決める選挙でした。自治労横浜としては、推薦する『山中竹春』氏の当選をめざし取り組みました。そのような中で、横浜地域連合をはじめ、多くの産別・単組のみなさんご支援とご協力をいただき、圧倒的な差で当選を果たすことができました。この場をお借りしまして、心から感謝申し上げます。これからは、労組として新市長を支えていくとともに、力を合わせて職員が安心して働ける職場環境を作っていくことにより、横浜市民のみならず、組合としても必要な申し入れや協議を行っています。



自治労横浜市従業員労働組合 寺田 浩